

〔男声合唱団 阪南メンネルコールの歩み〕

阪南メンネルコール 妹尾正徳

平成5年7月4日(日)第1回セタコンサートがサラダホールで開催された。

阪南市で初めてとなる男声合唱が演奏された。現在の阪南メンネルコールの源流である。

指揮は奥野茂先生、ピアノは松平幹先生、合唱者は8名、合唱曲目は、♪歌えいざ(男声合唱の前奏曲)、♪赤トンボ、♪ウ・ボイであった。

合唱者8名はコール・アドバンス(混声合唱)の男声部であったが、将来「男声合唱団」結成を目指して個別に男声合唱を練習していた。

現在「阪南メンネルコール」に在団しているのは、妹尾正徳 ただ1人となってしまった。

合唱指導の奥野茂先生は、永年の音楽教師を退職され泉州各地でオーケストラと合唱指導を行っておられた。そして「泉南地区合唱連盟」の初代理事長であった。

昭和から平成にかけて阪南市にも音楽文化が芽生えた。混声合唱、女声コーラス、PTAコーラスや少年少女合唱団など6団が個々に活動していた。

平成4年合同の機運が高まり「阪南市合唱連盟」が結成され、奥野茂先生が初代理事長に就任された。ここに男声合唱が誕生した。

男声合唱は、阪南市合唱フェスティバル・セタコンサートに於いて第1回～第4回まで出演した。



第1回 阪南市合唱フェスティバル セタコンサート ～ 第4回 阪南市合唱フェスティバル セタコンサート



第10回泉南地区合唱フェスティバル(平成8年)1996年1月21日 岸和田市立文化会館(マドカホール)

※『男声合唱の歩み』に阪南市合唱連盟の事情が大きく影響したので併記する

アクシデントが突然発生した。平成8年11月奥野茂先生が急逝された。阪南市合唱連盟にとっても男声合唱にとっても偉大な指導者を失うこととなった。

後任理事長には能地由美子先生(ピッツィカート・プリムローズ指導者)が就任され、奥野茂先生追悼の第5回七タコンサートが開催された。

そしてまた能地由美子理事長も転居のためわずか1年で退任されることとなった。そこで後任の理事長を各団の指導者に依頼したが受けてもらえる方が居られなかった。理由のひとつに資金面で七タコンサートの開催が難しかったことがあげられる。協議の結果、残念ながら「阪南市合唱連盟」を解散する事となった。

代わりに合唱者が開催資金を募金して七タコンサートを継続する案が出され、指導者は合唱指導に専念していただく事となった。名称も「阪南市合唱連絡協議会」に改称し、第6回七タコンサートを継続して開催することとなった。

各団から経験豊かな委員が集まり、顧問に紙田久光氏、会長に妹尾正徳が選出されて開催資金の募金を担当する事となった。副会長にしおさいの藤田紀子さん、ピッツィカートの武輪真佐子さん、事務局に藤井龍幹氏が選出され、トロイカ体制で運営した。

当時阪南市少年少女合唱団の指導者辻直子先生は、コールアドバンスの指導者と西鳥取小PTAコーラスと併せ3団指導をされていた。このため男声合唱の活動ができず、第5回、6回、7回、8回と男声合唱のステージが中断した。

我々男声合唱愛好者はこれ以上の活動停止は許されないとの思いで、妹尾正徳が設立発起人となり「男声合唱団グリーンアドバンス」を結成した。

平成9年7月8日の第9回七タコンサートで男声合唱団が13名でスタートした。



男声合唱団グリーンアドバンス・第9回セタコンサート



同・第10回セタコンサート

平成15年第11回セタコンサートから団名を **阪南メンネルコール** に変更した。
 ※阪南メンネルコールで合唱を継続しているのは妹尾・滝北・菅原の3氏である。



阪南メンネルコール・第11回セタコンサート

第12回～第13回セタコンサートは、指揮 **辻本真香先生**、ピアノ **桑本志穂先生** となった。



阪南メンネルコール・第12回セタコンサート



同・第13回セタコンサート

※ 第13回の阪南メンネルコールで合唱し、現在在団しているのは、妹尾・滝北・菅原・近藤・八幡・弓・藤田の7氏である。

第14回から現体制の指導・指揮、宮本佳代子先生、ピアノ・桑本志穂先生となった



第21回 泉南地区合唱フェスティバル 2006年11月19日 泉の森ホール

以後、セタコンサートは第15、16、17、18、19回に連続出演し現在に至る。

泉南地区合唱フェスティバルは第22、23、24、25、26回に連続出演した。

現在団者は妹尾・滝北・菅原・近藤・八幡・弓・藤田・片山・東山・藤原・渡邊の11氏である。

その間に江川・山口・鳥山・前塚・宮原の5氏が加入された。



阪南メンネルコールの活動



阪南市新年互礼会「国家・阪南市の歌」斉唱団
(H18年～H21)



平成23年10月1日「市制20周年記念式典」に於いて国家斉唱
阪南市合唱連盟代表 阪南メンネルコール有志一同

その他の活動(七夕コンサート笹担当、尾崎公民館まつり演技発表、男声合唱3団交流会、大阪リハビリテーション病院慰問演奏など)についてはホームページで紹介している。

追記、前出の「阪南市合唱連絡協議会」は、第11回から「阪南市合唱連盟」に名称復帰した。
募金による開催に限界が来たので、阪南市(当時の岩室市長)に折衝した結果、10年間市民主導で合唱文化の向上に努めたとして「共同開催」(ホール提供)が実現した。
本年(H24年)、七夕コンサートは20周年を迎える。

平成24年は、男声合唱発足20周年、阪南メンネルコール10周年を迎える。益々の発展を祈念して結稿とする。

以上